

シンビオ社会研究会  
正会員各位

令和5年4月20日  
シンビオ社会研究会  
会長 吉川 榮和

**シンビオ社会研究会令和5年度通常総会および講演会開催のご案内(4/28変更)**

拝啓 今年例年より桜開花も早く、早や野山の新緑が鮮やかな候となりましたが、皆様益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は本会の活動にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて本会の活動は令和4年度事業が3月末で終了し、4月1日より新年度の令和5年度になりました。そこで令和5年度の通常総会とその恒例のシンビオ講演会の開催を下記の要領で計画しましたので、正会員の皆様にご案内致します。

なお準備の都合上、正会員の皆様には出欠の都合を4月28日(金)までに必ず下の出欠回答票で事務局([symbio.reserch.office@gmail.com](mailto:symbio.reserch.office@gmail.com))あてにご連絡ください。

敬具

記

日時 令和5年5月11日(木) 午前13時～午後5時30分(開場12:45)  
場所 宇治市五ヶ庄 京都大学宇治キャンパス本館会議室(N-751E)及びZOOMによる  
交通 JR奈良線黄檗駅または京阪宇治線黄檗駅下車 地図は [こちら](#)

総会、講演会、懇親会の予定

	項目	時間帯(開場時間)	備考
A	令和5年度通常総会	13:00～14:00(開場12:45)	プログラムは後日連絡
B	令和5年度第1回理事会	14:00～14:30	プログラムは後日連絡 正会員の方も傍聴可能です
C	シンビオ講演会	14:45～17:30(開場14:45)	添付プログラム参照

-----回答票-----

**令和4年度シンビオ社会研究会各理事会、通常総会、講演会の出欠回答票**

氏名( )  
所属( )  
メールアドレス( )  
電話番号( )

A. 令和5年度通常総会

令和5年度通常総会に(  会場にて出席  Webにて出席  欠席 ) します

欠席の方へ 私は欠席しますので〔  議長  その他( ) 〕に委任します

B. 令和5年度第1回理事会

令和5年度第1回理事会に（会場にて傍聴します Webにて傍聴します 傍聴しない）

C. シンビオ講演会

シンビオ講演会に（  会場にて参加します  Webにて参加します  参加しません）

★申込先：シンビオ社会研究会事務局（[symbio.reserch.office@gmail.com](mailto:symbio.reserch.office@gmail.com)）

懇親会は諸般の事情により中止いたしました。

**通信欄**

住所・所属・メールアドレス・電話番号等に変更のあった方は、本便にて事務局までご連絡ください。

---

---

特定非営利活動法人 シンビオ社会研究会

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所内

TEL/FAX 0774-38-3482

<http://sym-bio.jpn.org/>

E-Mail: [symbio.reserch.office@gmail.com](mailto:symbio.reserch.office@gmail.com)

---

---

添付

# 令和5年度第1回シンビオ講演会開催案内

主催：NPO 法人シンビオ社会研究会

共催： 京都大学エネルギー理工学研究所ゼロエミッション（Ze）研究拠点

世話人： 八尾 健 森下 和功 理事

令和5年度実施のシンビオ社会研究会事業「エネルギー科学のパブリックアウトリーチのためのアクティブラーニング」および「複雑なエネルギーシステムの先進的な故障診断・信頼性評価手法の実験研究」実施に向けて、下記のとおり、令和5年度第1回シンビオ講演会を京大エネルギー理工学研究所 Ze 拠点との共催で開催します。遠隔オンライン参加も可能な ZOOM によるハイブリッド講演会とします。

日時 令和5年5月11日(木) 15:00-17:30 (開場 14:45)

会場 宇治市五ヶ庄 京都大学宇治キャンパス本館会議室(N-751E)及び ZOOM による

交通 JR 奈良線黄檗駅または京阪宇治線黄檗駅下車 地図は [こちら](#)

## プログラム

★開会の辞 15:00～15:05 シンビオ社会研究会会長 吉川 榮和

★講演1：15:05～16:05 (講演 50分 質疑応答 10分) 司会：森下 和功 理事

講演題目：磁力線で編んだかごの形状を工夫して高温のプラズマを閉じ込める

講師：京都大学エネルギー理工学研究所・准教授 小林 進二 (こばやし しんじ) 氏

略歴：昭48生。平8筑波大学・自然科学群卒。平13同大大学院物理学研究科博士課程修了後、日本原子力研究所（現 量子科学技術研究開発機構）博士研究員、平成14年京都大学エネルギー理工学研究所助手等をへて、令和元年同研究所准教授となり現在に至る。専門はプラズマ物理学、京都大学宇治キャンパスに設置されているヘリカル型プラズマ閉じ込め装置ヘリオトロンJを用いて、磁場配位を最適化する研究に従事している。最近は宇宙空間で起こる粒子加速現象を地上で実現する実験室シミュレーションの研究に注力している。



講演概要：

地上で核融合発電を実現するためには、高温・高密度のプラズマを長時間閉じ込める必要があり、断熱性の高い磁気容器（磁場配位）の開発が重要である。特にヘリオトロンやステラレータ装置の場合には磁気容器の幾何形状を工夫して断熱性を高める磁場配位の最適化研究が各国で盛んに進められている。本講演では京都大学・宇治キャンパスに設置されているプラズマ実験装置ヘリオトロンJを始めとして、各国の配位最適化研究を紹介し、現状と課題について概説する。

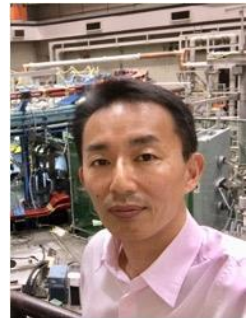
———休憩 10分———

★講演2：16:15～17:15（講演50分 質疑応答10分） 司会：八尾 健 理事

講演題目：Z世代に理科/理系分野の魅力を伝える取り組み ～実践例と問題点～

講師：京都大学エネルギー理工学研究所・准教授 門 信一郎（かど しんいちろう）氏

略歴：昭42生。平4京都大・理・卒。平9九州大大学院総合理工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。同年文科省（現：自然科学研究機構）核融合科学研究所助手，平12東京大学高温プラズマ研究センター/大学院工学系研究科原子力国際専攻（助教授/准教授）を経て平25年より現職。文部科学省学術調査官（研究開発局），フランス・エクスマルセイユ大学招聘研究員等を歴任。日本物理学会物理教育委員会委員，同学会男女共同参画推進委員会委員長，等を務める。専門はプラズマ理工学，核融合学，プラズマ計測，分光学，科学教育。



**講演概要：**

若者の理科離れに対する様々な啓発活動が活発化して久しい。一方Z世代といわれる若者は，スマートフォンやSNSを使いこなし，教室では困難であった理科実験もYouTube等で見つける。学習到達度調査（PISA）の国際比較も回復傾向であり，大学入試における近年の理系人気は堅調である。逆に時代に取り残されがちな我々世代が，エンターテインメント性の高い彼らを惹き付け，現実には泥臭い理系分野で活躍できる素養を育めるのか，手探りの実践例と課題について述べたい。

★閉会の挨拶 17:15～17:20 副会長 辻倉 米藏 理事

懇親会は諸般の事情により中止いたしました。